



風薫る5月となりました、皆様お元気でお過ごしでしょうか。
今回は秋津看護師に『排尿ケアチーム』について聞きました。

排尿ケアチームについて



◎ 「排尿ケアチーム」ってなんですか？

入院中、尿道に管を挿入された患者様が、管を抜いた後に起こした排尿トラブルをなくすようサポートするチームです。

チームは、医師、看護師、理学療法士で構成されており、2019年4月から活動を開始しています。

◎ 「排尿トラブル」ってなんですか？

一般的に排尿トラブルとは、尿が漏れる、尿が出ない（出にくい）、トイレが近いといった症状を言います。排尿トラブルは、オムツの着用や尿道に管を入れたままでの退院を余儀なくされることもあり、生活の満足度が低下する原因にもなります。

◎ 『排尿ケアチーム』はどんな活動をしているのですか？

当院でも、尿道の管を抜いたあと、自立して排尿できない患者様が多く見られます。

排尿ケアチームは、そのような患者様に対し、毎週金曜日の16時から回診を行っています。回診では、どのような排尿トラブルを抱えているかを把握し、トラブルの解決には何が必要かを検討して実践しています。具体的には、チームでその患者様に適した薬の処方や福祉用具の選択、排尿しやすい姿勢の練習、生活習慣改善にむけた相談などを行っています。排尿ケアチームでは、このような活動を通して、当院の入院患者様の早期退院や寝たきりの減少を目指します。



◎最後に・・・

排尿は、生活上するうえで必要不可欠な生理現象です。自力で排尿することは患者様にとって自信となり、生活の満足度の向上につながります。入院前から排尿トラブルがあるなしに関わらず、排尿トラブルは、患者様や介護する家族の方にとって負担となることがあります。退院後の生活を見据え、なるべくオムツなどを使用せず、自分で排尿できるよう援助していきたいと思います。



今後も、IHI播磨病院の各部門・先生・スタッフの紹介をします。

次回のT・TAK新聞もお楽しみに！！

バックナンバーは 病院ホームページ

<http://www.harima-hp.jp> からご覧いただけます。